

交流圏、交流人口の拡大による地域活性化に向けて ～本県航空ネットワークの充実・強化に取り組んでいます～

山形空港と庄内空港は、本県と国内外との交流を支える拠点として大きな役割を担っています。多くの方にビジネスや観光でご利用いただくことで、地域の産業・経済・文化の発展につながります。

これまでの県の取組み	その成果
①空港利用の促進 ・空港に発着する乗合タクシーへの支援 ・旅行商品づくりへの支援 ・運賃の助成等	山形空港 174千人/H21年度 → 325千人/H30年度 庄内空港 340千人/H21年度 → 392千人/H30年度 定期便の搭乗者数が増加！
②利用しやすい航空便の実現 ・航空会社等への新規路線就航の働きかけ ・国内定期就航路線の増便、機材大型化、ダイヤ改正 運賃割引拡大の働きかけ等	山形空港 ・羽田便の2便化や機材大型化 ・名古屋便や札幌便の就航 庄内空港 ・羽田便の機材大型化・成田便の就航

8月1日 山形県初LCC※ 庄内=成田線 就航!!

新たに庄内空港に就航したのはLCC国内線シェアNo.1のジェットスター・ジャパン(株)。県内初となるLCCと成田便についてご紹介します。 ※ローコストキャリアの略、効率的な運営により低価格な運賃を提供している航空会社の略称。

①運賃が安い!

格安に設定された運賃に、利用者が受けたいサービスをオプションで選択し、追加料金を支払う価格体系なので、自分の状況に応じて、料金を安価に抑えることができます。

通常期運賃 4,490円～

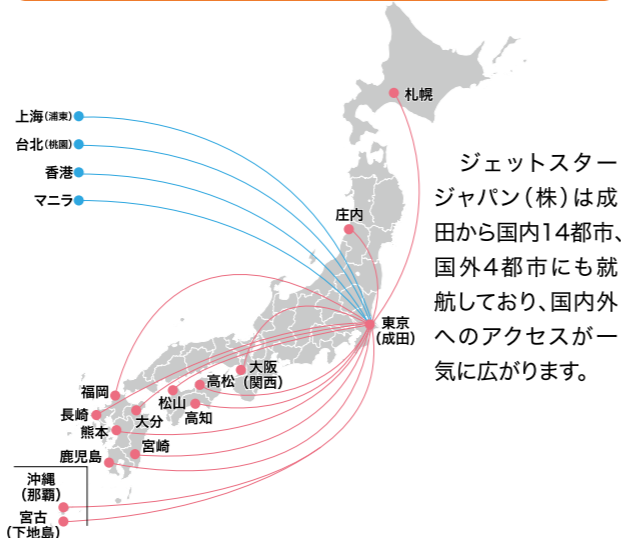
ほかに、支払方法やオプションにより手数料や料金ががかかります。
 (例)支払手数料600円(クレジットカードの場合)
 成田空港の旅客サービス施設使用料380円

サービス及びオプション料金(例)

- **座席指定**
スタンダード(窓や通路側、同行者と隣の席等)490円～
- **手荷物の機内持込み**
7kgまでは無料、+3kgは予約時880円～、当日申込3,000円
- **手荷物のお預けサービス**
～15kg:1,100円 以下、5kgごとで40kgまで設定あり

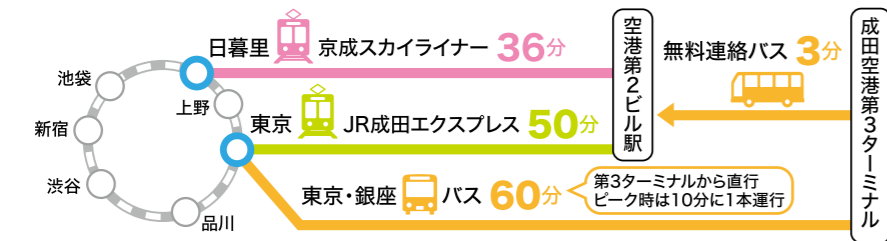
表示運賃はエコノミークラス「Starter」の片道運賃。諸条件が適用されます。そのほか、掲載情報は2019年7月1日現在のものです。

②国内・世界への格安ネットワーク!



③首都圏へのアクセスも充実!

都内まで高速バスや電車、定額タクシー等さまざまな交通手段が用意されており、価格も安価で運行本数も充実しています。



予約方法

ジェットスターの
 ●ウェブサイト
 ●スマホアプリ

●コンビニのマルチメディア端末
 取扱店:ローソン、ミニストップ、ファミリーマート

●コンタクトセンター ☎0570-550-538
 別途、予約内容に応じた手数料がかかります。

☆☆おいしい庄内空港

羽田便(ANA)	成田便(JJP)
庄内発 羽田着 07:10 08:15 庄内発 羽田着 08:35 09:40 庄内発 羽田着 12:50 13:55 庄内発 羽田着 17:50 18:55	成田発 庄内着 06:55 07:55 成田発 庄内着 14:50 15:55 成田発 庄内着 13:00 14:05

☆☆おいしい山形空港

羽田便(JAL)	伊丹便(JAL)	名古屋(小牧)便(FDA/JAL)	札幌(新千歳)便(FDA/JAL)
山形発 羽田着 08:50 09:55 山形発 羽田着 19:20 20:25	伊丹発 山形着 09:50 11:10 伊丹発 山形着 13:40 15:00 伊丹発 山形着 18:05 19:25	山形発 名古屋着 11:15 12:25 山形発 名古屋着 16:40 17:50	札幌(新千歳)発 山形着 12:45 14:00 札幌(新千歳)発 山形着 14:55 16:10

※いずれも今年10月26日までのダイヤです。天候等の事情によりダイヤは変更される場合があります。

▶お問い合わせ ◎航空行政全般及び山形空港に関する事 総合交通政策課 ☎023-630-3081
 ◎庄内空港に関する事 庄内総合支庁総務課連携支援室 ☎0235-66-5440

おいしい 空港

9月は「山形県防災月間」です。

キーワードは

「自らの命は自らが守る」

今年6月18日に発生した本県沖を震源とする地震は、県内では最大震度6弱を記録し、庄内地域を中心にさまざまな被害をもたらしました。また、西日本を中心とした平成30年7月豪雨では、死者237名、行方不明者8名が出るなど甚大な被害が発生しました。近年、これまでに経験したことのない自然災害が全国で頻発しています。

災害時に最善の行動をとらなければ、生命を失うことになりかねません。一人ひとりが「自らの命は自らが守る」意識を持ち、次の3つのステップで防災に取り組みましょう。

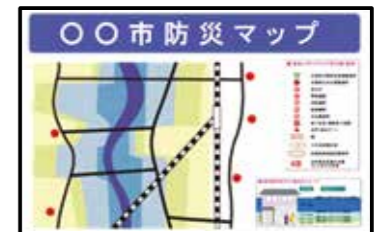
写真出典:広報誌「ぼうさい」平成31年春号(内閣府)

ステップ① まずは「知る」

■身の回りに起こりうる災害のリスクなどを知る。

- 起こりうる災害の種類や大きさや対処法をあらかじめ知ることが、いざという時に自分を守ります。
- お住まいの地域の防災マップ(図1)やハザードマップ(被害予測地図)等で、地域の危険箇所や危険度を知り、避難場所や避難路を事前に把握しておきましょう。
- 日頃から、天気予報や台風などの情報をチェックする習慣を身につけましょう。

地域の危険度を教えてくれる
(図1)防災マップ



ステップ② 次に「備える」

■災害発生時に備え、普段から準備する。

- 懐中電灯、携帯ラジオ、医薬品、現金などの非常持出品(図2)をそろえ、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 二次的な被害を防ぐため、家具や本棚などの転倒防止、窓ガラスの飛散防止の対策にも取り組みましょう。
- 食料や日用品は普段の買い物で多めに買い、日々の生活で古いものから順に使い、消費した分を買い足すことで、常に備蓄分を確保しておきましょう(ローリングストック)。自動車は、日頃から早めの給油を心がけることも有効です。
- 災害時に命を守る最善の行動がとれるように、地域の防災訓練などの活動にも積極的に参加し、有事に備えましょう。

いざという時に備えておきたい
(図2)非常持出品



地震から身を守る行動
(図3)「シェイクアウト」



ステップ③ 有事には「速やかに行動」

■地震が起きたら、まず自分の身を守る行動を!

- 室内では、机などにもぐり落下物から身を守りましょう(図3)。屋外では「カバンで頭を守る」、「ブロック塀から離れる」などのできる限りの対策を取ります。
- 揺れが収まったら、余震に注意しながら、速やかに避難してください。

■風水害が予測されるときには・・・

- 6月から洪水・土砂災害時の防災情報の伝え方が変わりました(図4)。
- 高齢者など避難に時間を要する方は警戒レベル3で避難開始。警戒レベル4は全員避難です。お住まいの自治体が発令した警戒レベルに従い、速やかに最善の避難行動を取りましょう。

新しくなった
(図4)洪水・土砂災害警戒レベル

レベル1	最新情報に注意
レベル2	避難方法を確認
レベル3	高齢者など避難
レベル4	全員避難!
レベル5	災害発生 命を守る最善の行動

次のステップは「地域の安全は地域みんなで守る!」

町内会等に組織された「自主防災組織」などの活動にも積極的に参加しましょう。災害発生時にお互いに助け合う「共助」の精神が地域防災力の向上につながります。

▶お問い合わせ ◎ 防災危機管理課 ☎023-630-2671